よろこびを敷きつめる

東リ株式会社

証券コード 7971

TOLI Report

株主・投資家のみなさまへ

第155期 中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日

株主・投資家のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび第155期中間期(2018年4月1日～2018年9月30日)が終了いたしましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

代表取締役社長
永嶋元博

当期の業績について

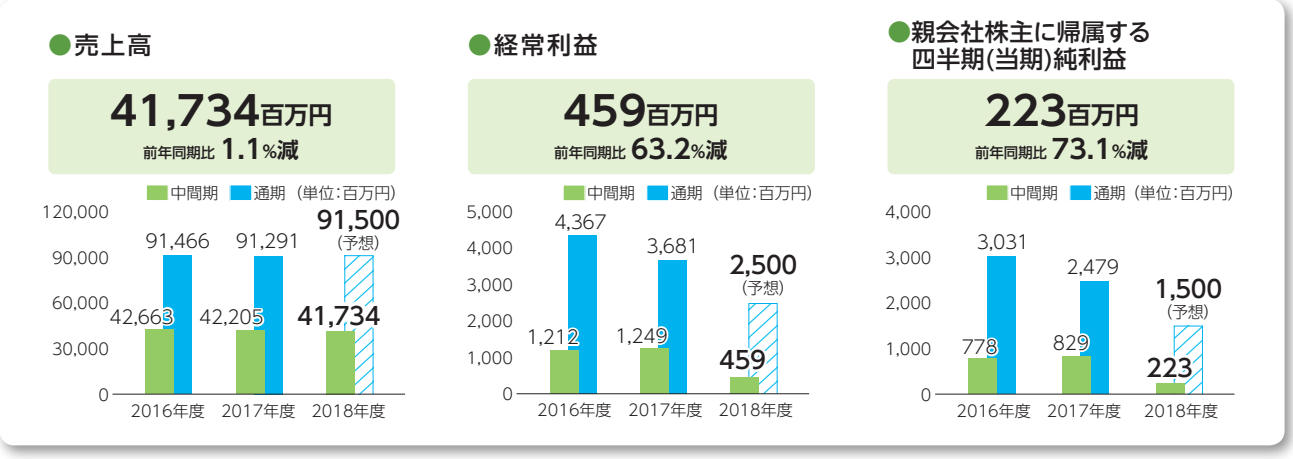
当中間期におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の深刻化や金融資本市場の変動などの懸念材料も多く、先行きの不透明感が増しております。当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、都市部を中心とした大型再開発プロジェクトの本格化など活況が期待されますが、新設住宅着工の減少傾向が続くなど、内装材需要の総量に力強さは見られませんでした。また、原油・ナフサ価格の高騰による主要原材料価格の値上がりや、人手不足に起因する物流コストの上昇などが影響し、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社グループは本年4月より中期経営計画『SHINKA-100』フェーズⅡ(2018～2020年度)をスタートし、3つの「SHINKA」(進化・深化・真価)をベースとした重点戦略に取り組んでおります。当中間期において、本格的な品揃えとしては国産初となる高意匠単層ビニル床シート「ヒトエ グランザ・ファイン」を開発・発売するなど、より一層の技術力と商品力の更なるレベルアップを図りました。また、主要原材料価格並びに物流コストの上昇に対して、本年6月より販売価格の改定を実施しております。当中間期における利益改善効果は限定的なものに留まっておりますが、引き続き市場浸透に努め、事業基盤の強化に取り組んでまいります。

これらの結果、売上高は**41,734百万円(前年同期比1.1％減)**、営業利益は**301百万円(同 73.1％減)**、経常利益は**459百万円(同 63.2%減)**、親会社株主に帰属する四半期純利益は**223百万円(同 73.1%減)**となりました。

当期の中間配当につきましては、期初予定のとおり1株あたり2円とさせて頂きます。また、期末配当につきましても、期初予定のとおり1株あたり8円とし、あわせて年間配当10円を予定しております。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



セグメント別の営業状況

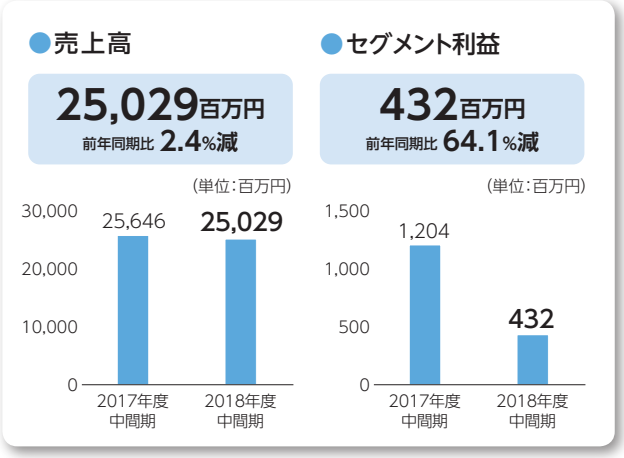
●プロダクト事業

塩ビ床材では、第1四半期に発売した「フロアリュームプレーンNW・マーブルNW」や「ヒトエ」を中心に積極的な販促活動を展開し、各方面より高い評価を頂いております。しかしながら、塩ビ床材の主力市場である医療・福祉施設市場や店舗市場向けの需要は伸び悩み、塩ビ床材全体では前年同期を下回りました。

カーペットでは、オフィス市場における新築・リニューアル需要の高まりを受け、タイルカーペットが堅調に推移しました。中でも昨年秋に発売した「GA-100T」は、汎用品を超えた高い意匠性が評価されて順調に売上を伸ばしており、主力商品「GA-100シリーズ」全体の販売を牽引しております。

壁装材及びカーテンでは、非住宅分野において「パワー1000」が引き続き好調を維持しましたが、汎用グレードの「VS」やカーテンなどの住宅分野向け商品が低調となり、全体では前年同期を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は**25,029百万円（前年同期比2.4%減）**、セグメント利益は**432百万円（同 64.1%減）**となりました。



●インテリア卸及び工事事業

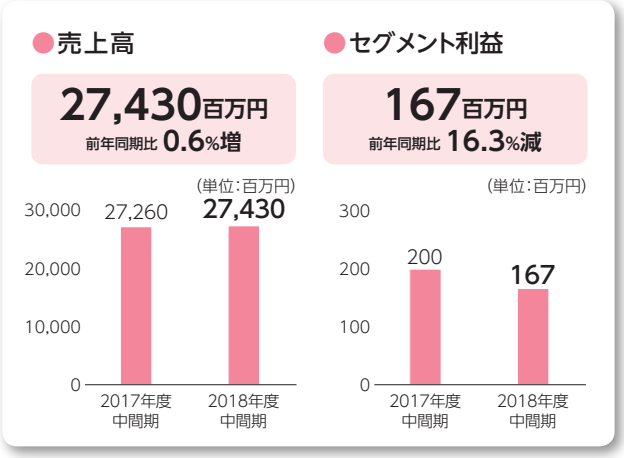
インテリア卸事業では、カーテンレールやブラインドをはじめとする窓回り商品の販売が伸び悩みました。一方、中国市場における販売を担う東璃（上海）貿易有限公司は順調に売上を伸ばしております。

工事事業では、グループ施工力を活かした営業強化を図り、昨年度に引き続き堅調に推移しました。

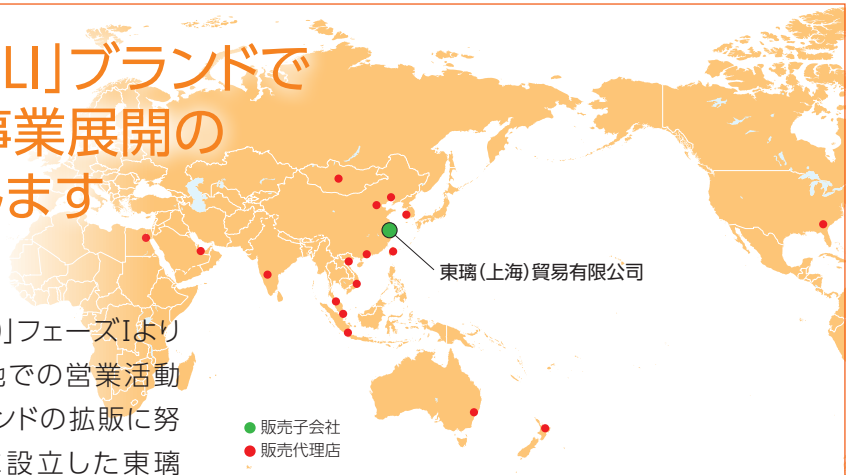
これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は**27,430百万円（前年同期比0.6%増）**、セグメント利益は**167百万円（同 16.3%減）**となりました。

※プロダクト事業とは、主に当社及び関係会社が塩ビ床材やカーペットなどのインテリア製品を製造・販売する事業です。

※インテリア卸及び工事事業とは、主に関係会社がインテリア関連商材の仕入販売及び内装工事を行う事業です。



Topics 1 「JAPAN TOLI」ブランドでグローバル事業展開の拡大を目指します



中期経営計画「SHINKA-100」フェーズIより海外事業の「深化」を掲げ、各地での営業活動を通じて「JAPAN TOLI」ブランドの拡販に努めてまいりました。2014年に設立した東璃(上海)貿易有限公司は着実に実績を積み重ねている他、近年では、2019年春開港予定の新ウランバートル国際空港などの国家的なプロジェクトへの採用も進んでいます。フェーズⅡスタートの今年度より、**グローバル戦略推進担当を新設**し、更に海外事業展開を加速してまいります。

新任取締役・執行役員のご紹介

橋本（はしもと） 昌幸（まさゆき）

このたび取締役を拝命しました橋本昌幸でございます。

海外勤務含め長年商社で働いた経験を活かし、グローバル戦略推進担当として当社の企業価値を更に高め、「次の百年」の成長に貢献したいと考えます。株主の皆様、ご指導またご支援よろしくお願い申し上げます。

略歴
1983年4月　日商岩井株式会社((現)双日株式会社)入社
2009年4月　双日株式会社化学品本部大阪化学品部長
2016年4月　同社化学本部副本部長
2018年6月　当社取締役・執行役員(現任)

Topics 2 世界有数の高級カーペットブランド「ロイヤルタイ」の日本総代理店契約を締結

日本国内におけるホテル市場のシェア拡大を目的に、世界的な高級カーペットブランドメーカー「ロイヤルタイ社」と日本総代理店契約を締結し、本年3月29日に契約式が執り行われました。

世界トップクラスのアキスミンスターカーペットの生産実績と品質を有し、著名なホテルやカジノなどへの豊富な納入実績を誇る「ロイヤルタイ社」との連携により、**活況を呈している日本国内のインバウンド需要に向けて世界基準でのデザイン提案が可能となりました**。今後、日本への進出が拡大する外資系ホテルなどのハイエンドなマーケット開拓に向けて、更に連携を高めてまいります。

ロイヤルタイ社製品の納入事例（米国ダラス：ヒルトン アナトールホテル）

契約式の模様（東リ伊丹本社）
左：［ロイヤルタイ社］ Stephen Wong
（スティーブン ウォン：マネージング・ディレクター）
右：［東リ］ 永嶋社長

Topics 3 独自の技術力を結集した、国産単層ビニル床シート「ヒトエ」を新発売

HITOE

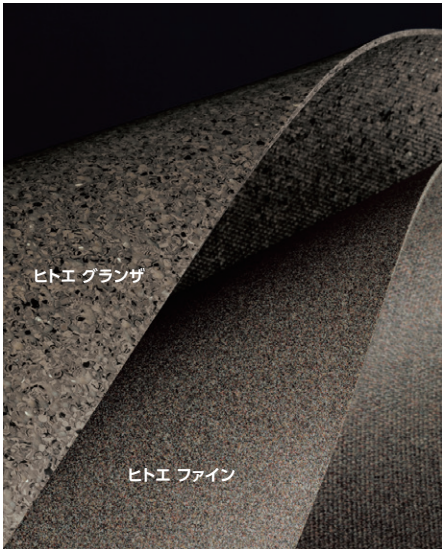
本年6月20日に、全層にわたり模様が持続する高意匠単層ビニル床シート「ヒトエ グランザ」「ヒトエ ファイン」を発売しました。

単層シートは、主に耐久性やメンテナンス性が要求される医療施設や教育施設で使用されることが多く、そのほとんどが海外輸入品です。そこで当社は**国産初の本格的な単層シートの開発に着手。研究を重ね、ついに「ヒトエ」の開発に成功しました**。

独自の施工方法「東リ ジョイントシールド工法」にも対応した単層ビニル床シート「ヒトエ」は、美しさと機能性が求められる空間にワンランク上の快適さを提供します。

※「ヒトエ」=ひとえ【単】　そのものだけであること、均一であることを製品名に採用

病院待合ロビーの使用例



バリエーション

Topics 4 札幌を象徴する新たなランドマークに、東リ製品をご採用いただきました

札幌の都市再開発事業の一環として建設された「**さっぽろ創世スクエア**」に、当社のタイルカーペットをご採用いただきました。

同施設は、札幌発展の起点となった創成川沿いに位置する複合施設で、オフィスや放送局、劇場や図書館など多彩な都市機能を集約。地域コミュニティーの拠点として、本年10月にグランドオープンしました。

施設の低層棟「札幌市民交流プラザ」の「札幌文化芸術劇場 hitaru」ホワイエ部分には、非日常空間を演出するオペラレッドの特注タイルカーペット、また市民の方が集う札幌市図書・情報館には意匠性の高いGXシリーズ「モルタークレイ」などの当社製品が空間を彩り、新時代を象徴するランドマークに華やかさを添えました。

札幌文化芸術劇場 hitaru（特注タイルカーペット）

札幌市図書・情報館（タイルカーペット「モルタークレイ」）

さっぽろ創世スクエア

所 在 地：北海道札幌市
納入製品：特注タイルカーペット
　　タイルカーペット「モルタークレイ」他
完　　工：2018年5月

Topics 5 更なる技術革新を目指す研究開発拠点に、東リ製品をご採用いただきました

楽器や音響機器、自動車部品など数多くの事業を展開するヤマハ株式会社の「**ヤマハイノベーションセンター**」に、当社のタイルカーペットとビニル床タイルをご採用いただきました。

同施設は約1,400名の技術者が働く研究開発拠点で、各所に「集中・リラックス・リフレッシュ」のイメージカラーで構成された空間を設定し、気分転換が図れる環境づくりを行っています。

ミーティングエリアには、芝生に見立てた緑鮮やかなタイルカーペット「ゆいそめ」が、食堂エリアには木調の落ち着いた雰囲気のビニル床タイル「ロイヤルウッド」が敷きつめられ、明るく親しみのある仕上がりに高いご評価をいただきました。

自然色を取入れたミーティングエリア（タイルカーペット「ゆいそめ」）

リラックスした雰囲気の食堂エリア（ビニル床タイル「ロイヤルウッド」）

ヤマハイノベーションセンター

所 在 地：静岡県浜松市
納入製品：タイルカーペット「ゆいそめ」
ビニル床タイル「ロイヤルウッド」
壁装材「リアルデコ」他
完　　工：2018年5月

連結財務諸表・会社情報

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科　目	第154期 (2018年3月31日現在)	第155期 第2四半期 (2018年9月30日現在)	増　減
資産の部			
流動資産	48,626	44,193	△ 4,433
固定資産	29,076	29,025	△ 51
有形固定資産	18,771	18,989	217
無形固定資産	1,494	1,510	16
投資その他の資産	8,810	8,525	△ 285
資産合計	77,703	73,218	△ 4,484
負債の部			
流動負債	29,619	25,297	△ 4,322
固定負債	12,188	12,533	345
負債合計	41,808	37,831	△ 3,977
純資産の部			
株主資本	33,406	33,136	△ 270
その他の包括利益累計額	2,296	2,050	△ 245
非支配株主持分	190	199	8
純資産合計	35,894	35,386	△ 507
負債純資産合計	77,703	73,218	△ 4,484

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科　目	第154期 第2四半期 (2017年4月1日～2017年9月30日)	第155期 第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	増　減
売上高	42,205	41,734	△ 470
売上原価	30,131	30,316	184
売上総利益	12,073	11,418	△ 655
販売費及び一般管理費	10,950	11,116	166
営業利益	1,123	301	△ 821
営業外収益	246	265	19
営業外費用	120	107	△ 12
経常利益	1,249	459	△ 789
特別損失	21	66	44
税金等調整前四半期純利益	1,227	393	△ 834
法人税等合計	421	160	△ 260
四半期純利益	806	233	△ 573
非支配株主に帰属する四半期純利益又は純損失(△)	△ 22	10	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	829	223	△ 606

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科　目	第154期 第2四半期 (2017年4月1日～2017年9月30日)	第155期 第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,959	2,513	553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 792	△ 962	△ 170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 827	△ 838	△ 11
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	28	27
現金及び現金同等物の増減額	341	740	398
現金及び現金同等物の期首残高	10,353	9,176	△ 1,177
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	100	—	△ 100
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,795	9,916	△ 878

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報（2018年9月30日現在）

会社概要

創立	1919年（大正8年）12月1日
資本金	6,855百万円
従業員数	863名
主な事業内容	塩ビタイル、塩ビシート、カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売
本社	兵庫県伊丹市東有岡五丁目125番地
東京本部	東京都港区東新橋二丁目10番4号
工場	伊丹、厚木
ショールーム	札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松
営業所	札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島、沖縄

役員

〈取締役・監査役〉	代表取締役社長	永嶋元博	
	専務取締役	鈴木潤	※
	常務取締役	天野宏文	※
	取締役	安嶋二郎	※
	取締役	徳島裕恭	※
	取締役	橋本昌幸	※
	取締役	横田絵理	
	取締役	今﨑恭生	
	常勤監査役	笹倉保	
	常勤監査役	富田芳朗	
	監査役	堀村不器雄	
	監査役	森川拓	

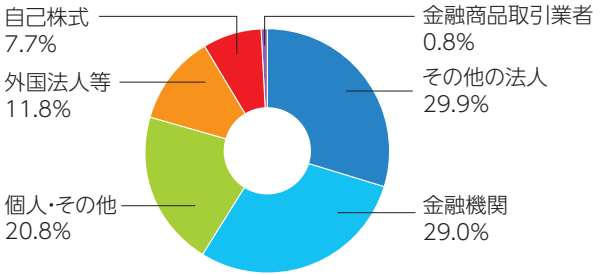
（注）1. ※印を付した取締役は、執行役員を兼務しております。
2. 横田絵理および今﨑恭生の両氏は、社外取締役であります。
3. 堀村不器雄および森川拓の両氏は、社外監査役であります。

〈執行役員〉	執行役員	江辺晴信
	執行役員	中野洋二
	執行役員	荒木陽三
	執行役員	田渕俊之
	執行役員	工藤務
	執行役員	立花敦司

株式の状況

発行可能株式総数	141,603,000株
発行済株式の総数	66,829,249株
株主数	5,416名

○所有者別株式分布状況



○大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本生命保険相互会社	3,641	5.9
株式会社トクヤマ	2,780	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,544	4.1
双日株式会社	2,532	4.1
株式会社三菱UFJ銀行	1,777	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,775	2.8
三信株式会社	1,730	2.8
東親会持株会	1,605	2.6
帝人フロンティア株式会社	1,489	2.4
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.4

（注）持株比率は、自己株式（5,140千株）を控除して計算しております。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株主名簿管理人事務取扱場所（お問い合せ先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777（通話料無料） https://www.tr.mufg.jp/daikou/

■公告の方法

電子公告の方法により、東リホームページ(https://www.toli.co.jp)に掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

東リ株式会社

https://www.toli.co.jp 当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

本誌に関する注意事項	本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、様々な要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

※表紙は、上段がビニル床シート「CFシート-P」、下段がタイルカーペット「グレイスライン」です。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915 www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

UD FONT